

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第2回和泉市総合教育会議
開催日時	令和5年7月20日(木) 午後3時30分から午後5時30分まで
開催場所	市役所3階 3A・3B会議室
出席者	<p>[構成員] 辻市長、小川教育長、深堀教育長職務代理者、西家教育委員、久米教育委員、中西教育委員、小谷教育委員、</p> <p>[事務局] (教育委員会) 土本教育次長兼教育・こども部長、辻生涯学習部長、上田教育指導監、阪下学校教育室長、仲谷教育指導担当課長、岩井教育指導担当参事、鍛冶教育・子ども部次長兼教育総務課長、大西教育総務課長補佐兼総務係長、小路教育総務課企画係長、西川教育総務課主事</p> <p>(市長部局) 東政策企画室長、鍛冶こども政策担当課長、藤井企画経営担当課長、中企画経営担当総括主査</p>
会議の議題	(1)教育と福祉の連携について
会議の要旨	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回会議の振り返りをおこなった。 ・教育委員会と市長部局との連携における現在の課題について、意見交換を行った。 ・現在検討している取組みイメージについて、意見交換を行った。
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他 ()
その他の必要事項	

審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

1. 辻市長から、開会の挨拶

2. 事務局（市長部局）から第1回の会議の振り返りについて説明

3. 事務局（教育委員会事務局）から「教育委員会と市長部局との連携における現在の課題について」と「現在検討している取組みイメージ」について説明

4. 意見交換

【小川教育長】

○教育と福祉の連携におけるポイントは、未然防止と早期対応の2点であり、その対応として、教育委員会の中に社会福祉士を配置することで体制強化を図ろうとしているが、社会福祉士がいない今の体制はどうなっているか。

【事務局（教育委員会事務局）】

○現在の体制は、事案を把握した時点でチーム学校としてケース会議を行い、教育委員会や福祉部局との連携が必要と判断された際には、学校またはSSWから教育委員会の指導主事やCSSWに連絡・報告し、CSSWが窓口となって福祉部局と連携しながら対応している。

○事案が増加する中でCSSWを機能的に活用するために、社会福祉士を配置し、福祉部局との連携が必要な事案の窓口とすることでCSSWが学校の対応に注力できるようにしたい。

【深堀職務代理者】

○CSSWが必要と判断した場合に社会福祉士へつなぐのか、全ての事案に対して社会福祉士に意見をもらうのか。

【事務局（教育委員会事務局）】

○CSSWが核となり判断していくが、指導主事や社会福祉士とも情報共有しながら判断する。

【深堀職務代理者】

○問題が表出していない層のなかから支援が必要な人を抽出していくための教育と福祉の連携の方策は、どのような内容となるか。

【事務局（市長部局）】

○こども家庭庁の実証事業を受け、市長部局が持っている福祉的な情報と学校が持っている情報をデータ連携し、今後発生する課題を早期に発見していく取組みを予定している。予防的な支援は子育て支援室が実施し、データ連携で分かってきたリスクのある家庭や子どもたちについて情報共有を行い、教育委員会と連携して対応していく。

【事務局（教育委員会事務局）】

○教育と福祉のデータを連携することで課題があるかもしれない子どもの抽出を行うことができ、社会福祉士を配置することで CSSW が学校への指導・助言する時間を増やすことができるようにする。

【西家教育委員】

○問題が表出していない家庭にはデータ利用をして関与していく他なく、虐待等を察知するためには、家庭の生活状況を把握することが大切。

【事務局（教育委員会）】

○学校と福祉部局が互いに把握している家庭の情報について整理したうえでデータ連携を行っていきたいが、使用するデータは個人情報を含むため、個人情報保護法に基づく課題もある。また、データ連携して抽出された子どもを中心にみていくが、あくまで一つのデータであることに留意しながら、教員による見立ても必要。

【西家教育委員】

○問題が表出していない家庭には調査権がなく、家庭の状況を把握しにくいと思うが、法的にはどうなっているのか。

【事務局（市長部局）】

○個人情報の壁が大きく、発生した事案に対してのみ調査権があるので、現在の法律では限界もある。

【久米教育委員】

○SSW は市費か。また、何人いるか。今後増やしていく予定があるかについても合わせて教えてほしい。

【事務局（教育委員会）】

○SSW は市費であり、全部で6人。内、1人は CSSW。今年度は CSSW を 500 時間、SSW を 2800 時間配置としているが、SSW は年間 400 時間ずつ増やすことを目指している。

【久米教育委員】

○マンパワーがキーになってくると思うし、システムがしっかりしていてもやはり人が大切。社会福祉士等と表現であるが、市長部局との連携をとる職員に社会福祉士以外の人も想定しているか。

【事務局（教育委員会）】

○社会福祉士、精神保健福祉士、保健師のいずれかの資格を取得している人を想定している。

【久米教育委員】

○問題が表出していない部分への取組も大切だと思うが、発生している事案に対しては早急な対応が必要であり、それに対応できるマンパワーが必要。

【中西教育委員】

○前回会議で示された6つのレベルに応じた欠席・長欠・不登校対応チャートのように、具体的に何をすべきかを示すことが大切。CSSW と社会福祉士を別で置くのではなく、CSSW を増やして対応してもよいのではないかな。

○重篤な事案は和泉市では岸和田子ども家庭センターが情報をもっているのので、情報を共有してデータ分析することが必要。

【事務局（教育委員会）】

○現在、学校の持っている情報から気になる子どものスクリーニングをしているが、教育委員会に上がってくる案件が増加しており、学校の対応がうまくいっていない側面と、学校がしっかりと予防的に把握することによる増加の2通りがある。予防的な取組により CSSW の業務を圧迫しているところもあるので、CSSW を複数にすることも考えられる。

【中西教育委員】

○どのような目的でどういう体制が必要なのか考えないといけない。目的をもう少し具体化し、整理していくことが大切。

【小谷教育委員】

○OSC や SSW 等が何人配置されているかなどの資料があると分かりやすい。

○学校の会議で SSW が案件を受け、社会福祉士から子ども支援コーディネーターに伝えるとなると、伝達に時間がかかりすぎるので、子ども支援コーディネーターが会議に入ればいいのか。

○責任者は誰になるのか。指揮命令系統をはっきりさせておく必要がある。

【事務局（教育委員会）】

○OSC は和泉市内30校に配置。SSW は9つの中学校区に配置。CSSW は1人。虐待や不登校に従事している指導主事2人が現状。その他、スクールロイヤーは大阪府の相談制度を活用したり、市の弁護士資格を所有している職員に相談している。

○責任者については、教育部分だから教育委員会の責任で、福祉部分だから福祉部局の責任とならないよう、教育と福祉が連携して対応していける体制をとっていきたい。

【西家教育委員】

○保護者にもしっかり注視する必要がある、その支援の中心になっているのは子育て支援室だと思うが、子育て支援室のマンパワーは充実しているのか。

【事務局（市長部局）】

○子育て支援室は子どもの相談を一括で受ける部局として不足はしているが、人員を強化しているところ。

○こども家庭庁の理念のもと、切れ目のない支援を行うのは子育て支援室が中心になっていくものと考えている。

【辻市長】

○マンパワーについては、人を増やすだけではなく、質を伴っていないと逆に混乱してしまうこともあるので、和泉市の中で人材育成をしていくなどしながら充実させていきたい。

○能力を発揮できる環境も大切であり、DXを活用することで本来専門職がしなくていい仕事はDXが処理をし、その職員しかできない仕事に専念できるような体制を作ることで、教育と福祉の連携を強化していきたい。

【小川教育長】

○責任は各段階で学校や福祉部局などそれぞれにあるが、最終的には教育委員会と市長が責任者となる。

○具体的に段階を追って分かるようにフローチャート図を作ってほしい。また、マンパワーを効果的に発揮させるために、DXを生かしていかないといけない。

○OAIが判断をされていて漏れてしまった事例があるように、データだけでは判断できないものもあるので、人間の判断も必要。

【辻市長】

○社会福祉士が学校に入って支援する先進事例等あるはずなので参考にしてほしい。

【中西教育委員】

○ヤングケアラー支援にも取り組んでほしい。

【久米教育委員】

○ヤングケアラーへの支援は家庭に入っていくことが必要になるので、家庭との信頼関係を構築していくような、地域ネットワークを活用した政策がいいと思う。

5. 閉会

【事務局】

○以上をもって、令和5年度第2回和泉市総合教育会議を終了する。

< 終了 >